



研究力強化に向けた研究パフォーマンス分析の戦略的活用  
～日本及び、シンガポール、オーストラリアの取り組み～

近年、多くの大学では、既に研究パフォーマンスの分析を行っています。それらはどのように研究力強化に活用されているのでしょうか。今回のセミナーでは、国内外の講演者から事例などご紹介いただき、研究データの活用法について議論します。

【日時】 2020年3月16日(月) 13:00～17:00 (17:00～情報交換会)

【場所】 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 1F 稲盛ホール

[http://www.kyushu-u.ac.jp/f/37269/2019ito\\_3.pdf](http://www.kyushu-u.ac.jp/f/37269/2019ito_3.pdf) (地図48番)

バス停「九大理学部前」下車徒歩1分

【対象者】 URA、大学職員、国内大学研究員



プログラム

13:00-13:05 開会挨拶  
九州大学 理事・副学長 安浦 寛人

13:05-13:35 特別講演

**本セミナーは、新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止が決定いたしました。**

14:15-14:55 「研究パフォーマンス分析」

Ms. Barbara Slattery, Associate Director,  
Research Analytics and Reporting, Research Development,  
Faculty of Medicine, Dentistry and Health  
The University of Melbourne, Australia

休憩(10分)

15:05-15:35 「プロジェクト形成と研究力分析」  
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部  
企画戦略・プロジェクト推進グループ URA 吉田 千穂

15:35-16:05 「岡山大学の国際化に向けた研究に基づく統合的戦略:6年間の大きな成果」  
岡山大学 研究推進機構 Bernard Chenevier 特任教授・特別URA

16:10-16:55 パネルディスカッション

16:55-17:00 閉会挨拶  
九州大学 学術研究・産学官連携本部 グラントサポートグループ クスターズ・ハロルド

17:00-19:00 情報交換会 (参加費2,500円)

問い合わせ・参加申し込み

◇参加申し込み:

<https://forms.gle/ECvNpmFkrVCTrUWV9>

◇問い合わせ

九州大学学術研究・産学官連携本部  
グラントサポートグループ

Tel:092-802-2162

E-mail:grant@airimaq.kyushu-u.ac.jp



小泉 周  
自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授



慶應義塾大学医学部卒業。卒後、生理学教室で、電気生理学と網膜視覚生理学の基礎を学ぶ。2002年米ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院・ハワード・ヒューズ医学研究所のリチャード・マスランド教授に師事。2007年に帰国し、自然科学研究機構生理学研究所の広報展開推進室准教授。2014年より、大学共同利用機関におけるURAとして、自然科学研究機構本部の研究力強化推進本部・特任教授となる。各国の研究大学の最新のデータをもととして、大学の研究力の測り方、その指標の在り方と、国際比較について、お話しします。

Mr. Hee Kim Poh, MBA, MSc, MA  
Director Institutional Statistics, Nanyang Technological University, Singapore



高等教育業界で働いた実績をもち、経験豊富なIRディレクター。2008年より現職。データ分析、統計、戦略計画、運用研究および計画、国家安全保障に関するスキルがある。1984年にオックスフォード大学工学科学を卒業後、シンガポール国立大学で産業およびシステム工学のMBAとMScを取得しました。本セミナーでは、大学ランキングに対する研究指標のインパクト、そしてランキングについて、研究者が知っておくべきポイントを説明する。

Ms. Barbara Slattery  
Associate Director, Research Analytics and Reporting, Research Development,  
Faculty of Medicine, Dentistry and Health Sciences, The University of Melbourne



Slattery氏は、メルボルン大学医学部歯学および健康科学部の研究推進チームの研究分析および報告ポートフォリオを率いている。研究者の研究業績目標の計画及び実施において、情報に基づいた戦略的意思決定を可能にする分析と報告の開発、実施、提供を調整している。講演では、研究成果につなぐダッシュボード、視覚ツール、レポートの開発にチームと利害関係者がどのように関与するかを説明する。

吉田 千穂  
URA, 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部企画戦略・プロジェクト推進グループ



名古屋大学大学院情報科学研究科にて情報科学博士取得後、2012年より現職。プレアワード・ポストアワード支援や地域連携に携わった後、研究力・産学連携分析を担当している。所属組織の執行部や大学執行部に対し、戦略立案に資する分析レポートを発行している 講演は、大型プロジェクトの獲得に向けた研究パフォーマンス分析について話す

シュヌヴィエ ベルナール  
岡山大学 研究推進機構 特任教授・特別URA,  
フランス国立科学研究センター(CNRS)シニア・サイエンティスト



フランス、グルノーブル大学で物理学科Ph.D.コース修了後、CNRS(フランス国立科学研究センター)の研究員となる。2001年にCNRS研究ディレクターとなり、研究所長を務めるなど、研究マネジメント業務にも従事。岡山大学では、国際連携強化と国際認知度の向上を目的とした研究マネジメントをしている。講義では、主に欧州に焦点を当て、大学の国際化及び海外グラントの獲得に向けた、研究パフォーマンスの活用について話す。

Access

博多から:

JR博多駅-(地下鉄空港線)→ 九大学研都市駅 - (昭和バス) → 九大理学部前バス停  
JR博多駅→(西鉄バス)→九大理学部前バス停

天神から:

地下鉄天神駅-(地下鉄空港線)→ 九大学研都市駅 - (昭和バス) → 九大理学部前バス停  
天神バスセンター→(西鉄バス)→九大理学部前バス停